

つくしだより



令和4年10月号

2023年度東京都予算要望活動

都連会長 眞壁 博美

2023年度東京都予算への要望を都に提出し、9月26日(月)に懇談会を持ちました。今年度もコロナ対策のため、理事6名だけの参加になりました。

今回は要望項目を大きく4項目に絞り込みましたので、1時間の時間の中で、質問・意見交換の時間にゆとりがありました。

東京都に要望を出すと同時に、都議会の全政党・会派にも同じ要望書を送り、7月下旬から9月上旬にかけてヒアリングも行ってきました。以下、要望項目をお知らせします。

要望項目

1 思春期における精神保健教育と相談体制の充実

(1) 小学校高学年から中学校において、授業の中で精神疾患に関する正しい知識や対応の仕方を学べるようにしてください。

(2) 中学生を対象にした精神疾患を理解する内容のパンフを毎年作成してください。加えて、動画配信等の工夫をしてください。

(3) スクールカウンセラーの充実と新たに精神保健福祉士の配置と

全教職員への研修を実施してください。

(2) 障害者週間に、一般都民に精神障害に対する偏見をなくし、正しい知識を得るための講演会・映画会などを開催してください。

(3) 子どもや保護者からの相談体制の充実をお願いします。

2 東京都の精神保健医療の充実

(1) アウトリーチ(訪問診療) 拡充で精神科医療に繋げてください。

(2) すべての都立保健所管内にアウトリーチ事業所を複数箇所設置してください。

(3) 23区でアウトリーチ事業の未実施の区に東京都から支援を行ってください。

(4) 都立精神保健福祉センターのアウトリーチ事業を充実してください。

(5) 人権が尊重される精神科医療の充実をお願いします。

(6) 精神科特例を廃止するよう国に働きかけてください。

(7) 精神科病院に安心して入院治療が受けられるように、都内の精神科病院に対して患者の人権に配慮した処遇がされるよ

う予算措置と指導をお願いします。

3 精神障害者にも福祉手当を

(1) 精神障害者にも心身障害者福祉手当支給を早急にしてください。

4 家族会活動への支援について

(1) 東京つくし会事務所の都施設の利用

(2) 事務所家賃の補助

★今年度は、精神障害者にも「福祉手当」を支給して欲しいという要望を入れました。「心身障害者福祉手当」は、東京都独自の制度で、1974年に条例化しました。「心身障害者の福祉の増進に資することを目的とする」となっています。しかし、身体・知的障害者には支給されているのに、精神障害者は対象になっていません。現在15区と1町が月額4千円〜1万5千5百円と金額はまちまちですが、各自自治体財政から支出しています。多摩の26市は福祉手当は出せて居ません。同じ東京都民にも関わらず、障害種別で差別され、住んでいる地域によっても扱いが違ってきます。この不合理を早く是正していきたいと思えます。

板橋区はすね会を訪問しました。

都連副会長 植松 和光

9月3日(土)の午後、都営三田線志村三丁目駅で下車。初めての地でしたので多少の不安がありました。まずは腹ごしらえと付近を探して歩きましたが、あまりないので喰いそびれると思いましたが、やっと見つけました。海鮮丼やさん。おいしかったです。

さて、会場は板橋区グリーンカレッジホール、とてもいい感じの会場でした。

午後1時30分から始まり午後4時終了予定でしたが30分ほど延長となりました。

当日は倉沢会長をはじめ14名ほどの皆さんが参加されていました。

今回は、家族が抱える問題等について話して下さいとの要望がありましたので、1時間ほど時間をいただきお話をさせていただきました。

▲ 精神障がい者の家族が直面してきた困難

- (1) 病状悪化時に必要な支援がない。
- (2) 困ったとき、いつでも相談でき、問題を解決してくれる場がない。
- (3) 本人の回復に向けた専門家による働きかけがなく家族まかせ。
- (4) 多くの家族が情報を得られず困った

経験をもっている。

- (5) 家族は身体的・精神的健康への不安を抱えている。
- (6) 家族は仕事をやめたりして、経済的な困窮をしている。

▲ 家族会の課題

- (1) 家族会の高齢化と会員の減少

① 役員体制

② 後継者づくり

- (2) 親亡き後について

① 今から子離れ

② 当事者の自立

- (3) 若い家族会員の加入

① 家族会交流会等の曜日、時間等の変更

② 家族会広報充実

③ 区報等への掲載

はすね会は、今、ホームページの作成準備をしており、とても活気を感じることができました。これからの益々のご活躍期待しております。有難うございました。



日野市障団連の学習会で

「精神障がい者及び家族の現状と支援」

についてお話をさせていただきました！

都連副会長 植松 和光

日野市障害者関係団体連絡協議会には日野いずみ会も加入しており、今回日野いずみ会からの依頼を受け、9月11日(日)午前10時から1時間お話をさせていただきました。

この団体は、身体障害、知的障害、精神障がい者団体等の連絡協議団体で、地域の活動の連携と情報共有をしているそうです。

当日は対面とオンラインで行われ沢山の方に参加されました。会場は日野市中央福祉センターでした

私からは、精神障がい者の現状、精神障がい者家族が抱える困難な状況、精神障がい者家族が行政等に要望している内容。特に東京都への要望について話をしました。

- (1) アウトリーチ支援事業の充実
- (2) 24時間365日の相談支援体制の実現
- (3) 当事者の経済的自立
- (4) 住まいの確保
- (5) 学校教育

最後に精神障がい者家族会の役割と必要性についてお話をさせていただきました。

日野いずみ会の皆様、日野市障団連の皆様有難うございました。

2022年度つばさ会講演会の報告
都運副会長 本田 道子

「ACTAのとり組みと」

クラフトビールづくり」

講師 高木俊介氏

大型台風の名残りの風が時おり都内を通り抜ける9月25日、日曜日の午後、場所は蒲田駅近くの大田区消費生活センターの会議室です。コロナとあつて定員の半分、先着70名の座席はほぼ埋まりました。

高木氏は「みんなねっと」でも取り上げられたクラフトビールを作り、売り出している医師でもあります。が、本来は

「発症した統合失調症の患者には24時間患者に寄り添い患者の不安を取り除くことができれば、薬に頼らずとも、地域で生きてゆくことができる」

ということを地域で、京都で実際にスタッフと共に実践されている、医師です。

その結果、次は働く場所を、となりビール作りにつながった、ということでした。

精神科医、看護師、臨床心理士などケースにとことんよりそっている、いわゆる重症な患者でも安定でき、入院することなく今までと同様に家族と暮らしている、ということだと思います。

入院することがなくなれば、保護室での問題

や身体拘束の問題など起こりえる筈がありません。

「地域での生活をまもり、地域で暮らし続けてゆく医療・支援体制」

「みんなねっと」が取り上げたのは2008年10月号、あれから14年、京都では実践され、東京は変わらないままです。



高木先生

第二七回東大いちようの会講演会報告

東大いちようの会 会長 七村 照子

2022年9月25日の日曜日13時40分から16時45分迄、文京区民センターにて講演会が開催されました。

出席者は、東大いちようの会36名、文京区家族会6名、つくし会7名、本郷の森3名、HARA9名の合計61名でした。

今回の講演会では、私共の挨拶に始まり精神科医森川すいめい先生と看護師・精神保健福祉士の川島美由紀先生による「オープンダイアログ」がもたらす精神医療のあり方や

病気の特性を知り、その対処法を学ぶと云う講演会が行われました。

「オープンダイアログ」とは、統合失調症などのケア技法として始まった治療的介入の手法でフィンランドの病院のファミリーストラピストを中心に、1980年代から実施されているものであり、「開かれた対話」と訳されます。統合失調症、うつ病、引きこもりなどの治療に大きな成果を上げており、発達障害の治療法としても期待されているものであります。今回の講演では、森川先生と川島先生によるオープンダイアログの手法が模範的に示されました。参加者のお二人が家族を代表する形で、家族と当事者役となつて日頃の悩みや苦悩をお話し、両先生も丁寧に二人の話を聴き取り、徹底して家族や当事者に寄り添う暖かい姿に皆様大変感動されておりました。その後、会場の参加者が3〜5人のグループに分かれグループワークが行われ、オープンダイアログの実践例についての感想やそれぞれの思いの文を語り合い、大いに盛り上がりました。

コロナ禍の中、参加各団体役員皆様のご協力を頂きましたお陰を持ちまして、大変成功裏に終えることが出来ました。

本日に有り難うございました。書面をお借りいたしましたしてお礼申し上げます。

★ 家族会交流 コーナー

このコーナーは、家族会間やつくし会との情報交流の場です。より良い家族会活動のために役立つ場になりたいと思っています。載せたい情報を毎月20日までに、つくし会事務所にFAX(03-3354-1108)またはメールtsukushikai@chorus.ocn.ne.jpでお寄せください。

精神障害者交通運賃割引情報(大手のみ)

航空 日本航空、全日本航空とその関連会社(利用する飛行場等によって異なります)ので、旅行代理店等でお求め下さい。
西鉄 一級所持者及び介護者 5割引
二級・三級所持者 5割引

近鉄 (2023年4月から)

一級所持者及び介護者 5割引
二級・三級所持者 一人で101km

以上乗車の場合 5割引

近鉄に対し、みんなねっとは、101km以上の条件撤廃、単独乗車も対象にと要望中です。JRや東京の私鉄は、このような動きにどう対応するのでしょうか。

★ 賛助会費 ★

榎本クリニック 5000円
北千住旭クリニック 5000円
ありがとうございます。

★ 講演会のお知らせ ★

○「みんなでやろう家族SST」
日時 11月5日(土) 午後1時半～4時
講師 高森 信子氏
会場 二幸産業・NSP健康福祉プラザ
5階 視聴覚室 申込不要
主催 サンクラブ多摩 ☎042-371-3380

○ 家族セミナー

1「精神科医師のお話し病気の理解と対応についてきてみよう」
日時 11月6日(日) 午後1時半～3時半
講師 周愛巢鴨クリニック 精神科医
花田 照久氏

2「散歩のすすめ 災害に備えて」
日時 11月20日(日) 午後1時半～3時半
講師 元中野区福祉団体連合会事務局
根津 力三氏

1・2とも

会場 スマイルなかの3階 A・B会議室
主催 たんぽぽ会他
申込・問合 中野区鷺宮すこやか福祉センター ☎03-3336-7111 要予約 先着20名

○「心に寄り添う接し方 家族SST」
日時 11月12日(土)

講師 SSTリーダー・精神保健福祉士
向川原 聖名子氏
会場 新宿区立障害者福祉センター
主催 新宿フレンズ ☎03-3987-9788

○「精神障害者の親の老後と亡き後に備えて」
日時 11月15日(火) 午後2時～4時半

講師 聖学院大学 教授 田村 綾子氏
会場 ココブンジプラザ(国分寺駅ビル西5階)リオンホール 申込不要 先着60名
主催 国分寺あゆみ会 ☎080-1123-2502

編集後記

今年の夏の暑さは、身のおきどころもないような連日の暑さ!!そして台風到来!!被害も多くニュースで気の毒な映像を見ない日がない日々でした。

文京区家族会では「親亡き後、今できることを考える」講演会を開催しました。

親が亡くなった後の当事者の生活は・・・と不安を抱えながら漠然と心配している方も多いようです。

安心して自立した地域生活を送ることができるようにも思っていますが専門職の報酬がかかり経済的な負担が重い、親も今のところ元気だから・・・むずかしいところもあります。が社会福祉協議会の権利擁護センターの窓口にご相談される事も良い様です。

私たちも区報、社協だより等で後見人勉強会が開催される時は参加して勉強してみたいかがでしょうか。

最後に家族会を支援していただいている浅井先生から「遺言書に当事者が不利にならないように書いておくことも良いですね。」と提言をいただきました。

都連理事 前山 栄江